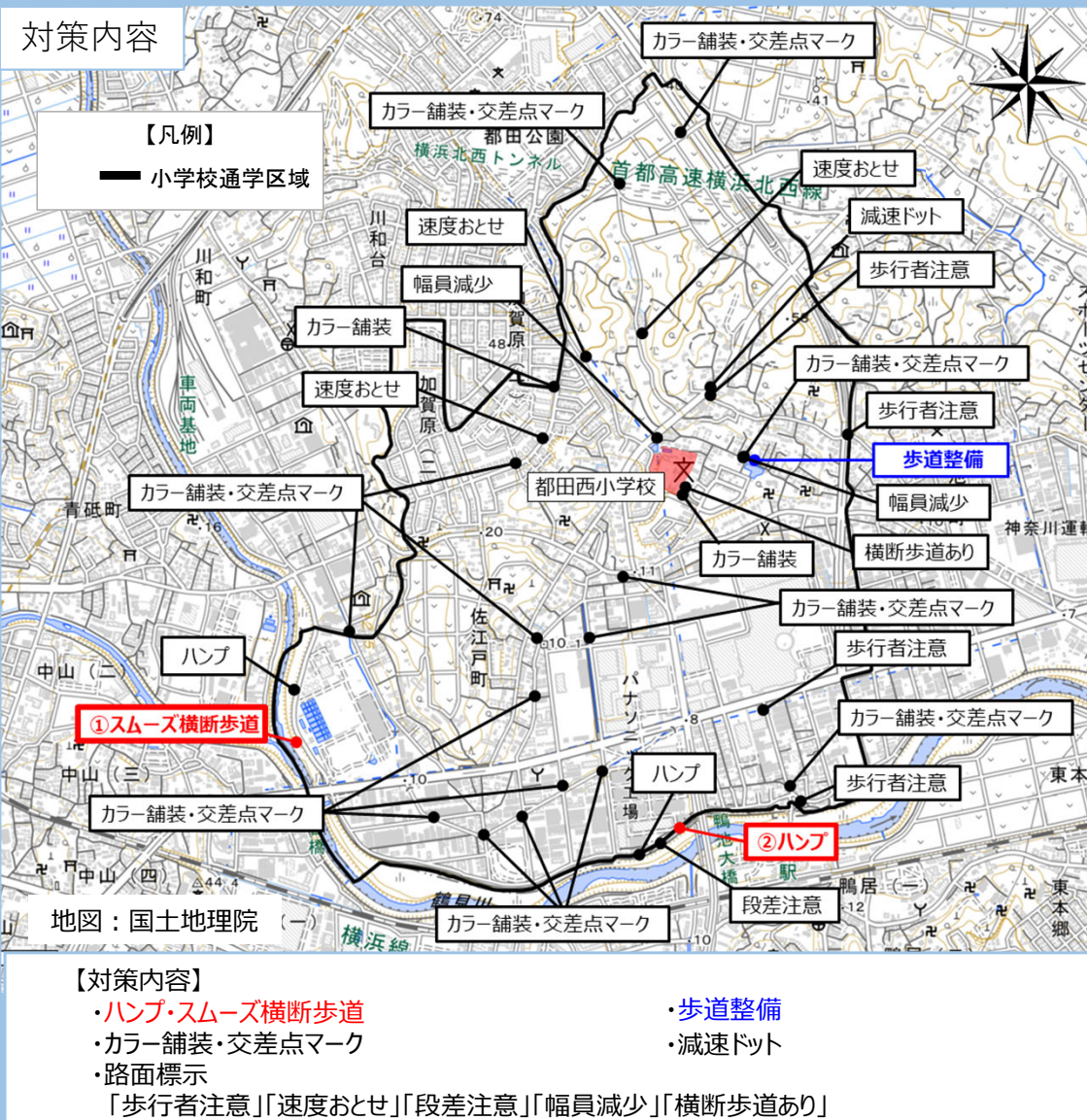
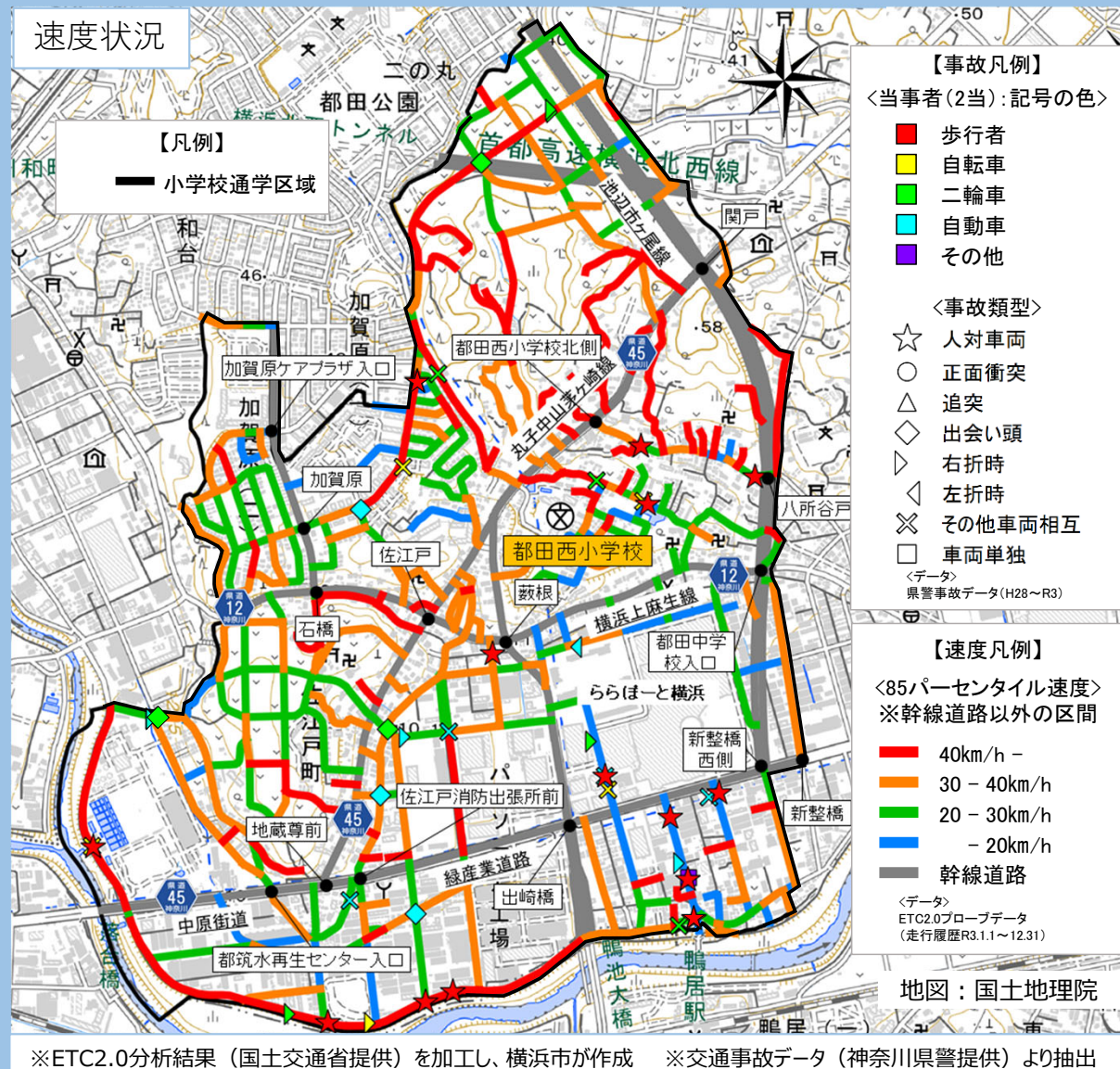


速度状況と対策内容

ETC2.0から得られた車両速度データや交通事故データなどをもとに対策を立案し、学校や地域との協議を経て対策を実施した。安全な歩行空間を整備するために、調整池用地の一部を歩道として整備した。また、速度が高い川沿いの路線においては、ハンプやスムーズ横断歩道を設置し、速度抑制を図った。



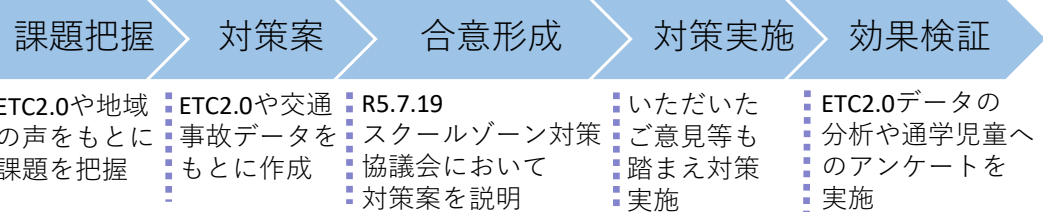
① スムーズ横断歩道



② ハンプ



交通安全対策取組フロー



スクールゾーン対策協議会からの主な要望

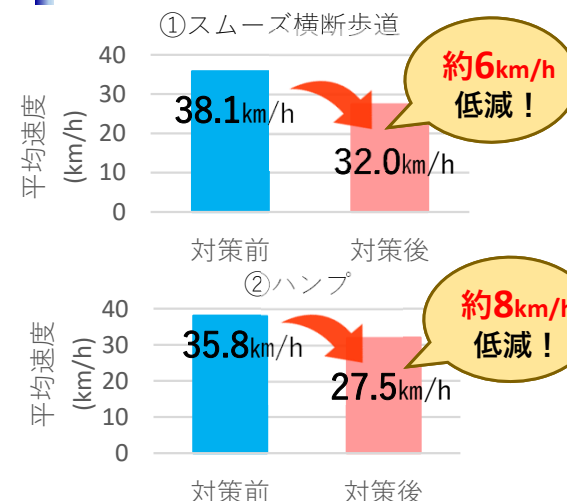
小学校の南門前は送迎の車が停まっていて見通しが悪く、児童が多く利用するので路面表示などを設置してほしい。

放課後、小学生との接触事故があったこともあり、道路拡幅や歩道設置などの対策を検討・実施してほしい。

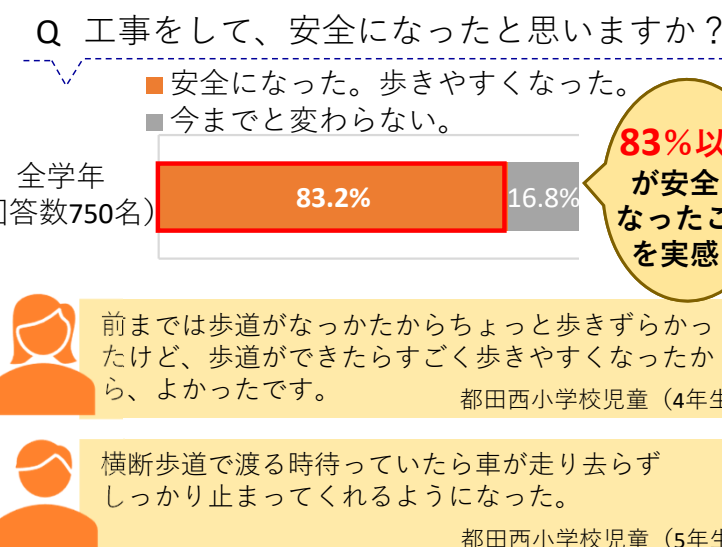
歩道整備



走行速度の分析効果比較



児童向けアンケート



都筑区 都田西小学校

【対策方針】

○課題や対策の共有、対応の具現化

地域の実態把握、危険個所の共通理解を図り、学校、保護者、地域が一体となり、取り組んでいけるようにする

○交通安全についての理解

児童一人ひとりが、実践力を身に付ける

【こども・安全安心マップ】 引用:Googleマップ



■ 対策事例

商業施設での館内放送



地域商業施設で「年末の交通事故防止運動実施」の館内放送(録音)を実施

【学校からのコメント】

多くの人に呼びかけることの大切さを実感し、館内放送以外に、自分たちにできることを考える機会になった

放課後キッズクラブ交通安全教室 (実施日:令和5年8月22日 参加人数:85名)



下校時間が遅く1人で帰ることの多い放課後キッズクラブの児童向けに、道路局職員が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

標識の意味など交通ルールに関するチーム対抗のクイズ形式

はまっこ交通安全教室

(実施日:令和5年10月27日 参加人数:288名)



※写真は対象校とは異なります

道路を1人で歩くことが多くなる1年生と自転車を使い始める4年生を対象に、交通安全協会が交通安全教室を実施

【交通安全教室の主な内容】

1年生:道路の正しい歩き方
4年生:自転車の乗り方 ほか

幼児交通安全訪問指導

(実施日:令和5年10月24日ほか2回実施 参加人数:計124名)



※写真は対象園とは異なります

未就学児を対象に道路の歩き方などをパネルシアター等を用いて道路局の幼児交通安全教育指導員が実施

【訪問した園】

ゆうぽーと保育園、ブライツ保育園横浜佐江戸、クリオスキッズ鴨居駅前保育園